

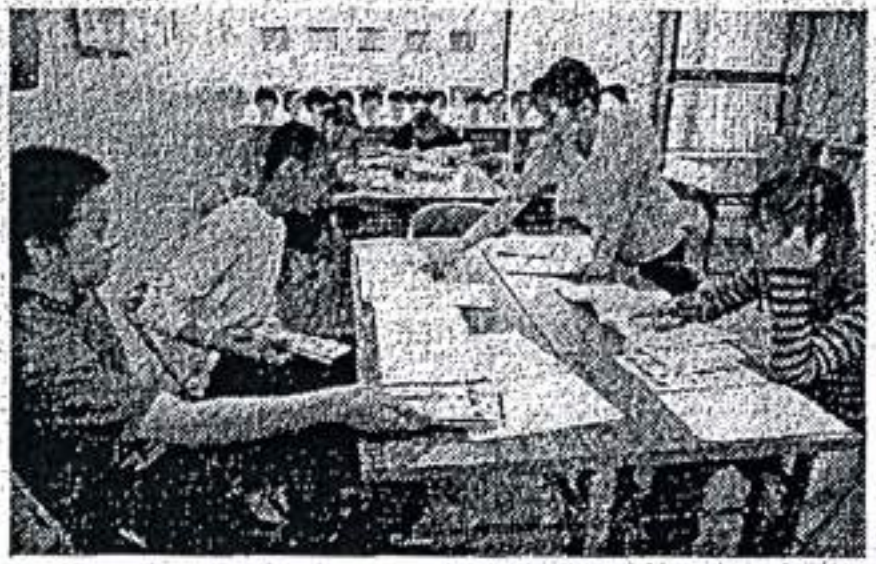
# 将来へ夢描き

## 通信高に16人

屋久島おおぞら・那覇校

広域通信制・単位制の屋久島おおぞら高校（鹿児島県）で高校卒業を目指す県内の新入生16人の入学式が17日、那覇市のサポート校・マイン高等学院で開かれた。新入生は新たな出発に向けて決意を語った。

同高校は2005年に開校し、全国27カ所のサポート校で5466人（09年5



通信制高校に入学し、新たな目標に意気込む生徒たち。17日、那覇市のマイン高等学院

月）が学んでいる。県内では07年にサポート校が開設され11人が卒業している。

本年度、県立高校から編入した諸見里理江さん（20）は小学生時代に入院生活を経験し、看護師を目指すようになったと語り、「早く卒業して県外の看護学校に進学就職したい」と決意を込めた。モントゴメリー翔ウィリアムジュニア君（15）は「目標を見つけない」と語った。上里真奈美さん（15）は「自分のペースで勉強できそう」とはにかみ、仲里辰吉君（15）は「大学に行きたい」と話した。

生徒はサポート校に週2日か週5日間通い、高校卒業認定に必要な単位取得のための勉強や、ヘアメイクや農業体験など「トライアルレッスン」を受講する。

同高の伊藤友希チーフは「さまざまな事情で挫折を経験を味わっている子もいる。いろんなことにチャレンジしながら生きる力をはぐくんではほしい」と願った。